

第 24 期第 2 回運営委員会報告

日時:2007 年 5 月 20 日(日) 17:10 ~ 20:20

場所:幕張メッセ 国際会議場 203 号室

出席者(敬称略)(17名/ 定足数 11 人):歌田久司 津田敏隆

阿部琢美 石井 守 石川尚人 臼井英之 小川康雄 河野英昭 北 和之
木戸ゆかり 齊藤昭則 高橋幸弘 田口 真 長妻 努 野澤悟徳 山本 衛
清水久芳

欠席者:吉川一朗

1. 前回(第 24 期第 1 回)運営委員会議事録の承認(石井)

・承認された

2. 協賛・共催関連(小川)

・後援「第 5 回火山都市国際会議 (Cities on Volcanoes 5 conference)」(主催:島原市、日本火山学会)、日時:2007 年 11 月 19 日 - 23 日、場所:雲仙岳災害記念館、島原復興アリーナ

・後援「第 7 回アジア地震学会連合総会 (Asian Seismological Commission)」(主催:日本地震学会)、日時:2008 年 11 月 24 日 - 27 日、場所:つくば

3. 入退会(小川)

入会者 11 名、シニア会員 1 名、退会者 6 名を承認した。

・入会者(11名)

- 正会員(一般) 4 名:平木康隆(所属:京都大学、紹介者:高橋幸弘・足立透)、富川喜弘(極地研究所、麻生武彦・堤雅基)、中村良介(産総研、今村剛・高橋幸弘)、佐藤毅彦(宇宙航空研究開発機構、中村正人・岡野章一)

- 正会員(学生) 7 名:豊田丈典(東京大学、村上豪・吉岡和夫)、岡崎良孝(東北大学、村田功・藤原均)、鈴木一成(東京大学、齋藤義文・長谷川洋)、大島亮(東京大学、中村正人・今村剛)、空華智子(東京大学、中村正人・今村剛)、佐藤由佳(東北大学、小野高幸・飯島雅英)、鈴木秀彦(総合研究大学院大学、田口真・堤雅基)

・シニア会員(1名):吉田澗

・退会者(6名)

- 正会員(一般) 4 名:細谷亮、小竹論季、村田洋三、吉田直文

- 正会員(学生) 1 名:犬伏裕之

- 正会員(シニア) 1 名:並川富一

4. Web サーバーについて(臼井)

・HP 表紙デザインの見直しについて報告された。

5. 会計関係(山本・石井)

・監査委員として船木實会員(極地研)と小原隆博会員(NICT)の2名を選出した。

・H18 年決算報告

- 単年度納入率は全体平均 76.4%と低いが、前年度分込み納入率は 91.7% となった。予算額を上回る会費収入を得ることができ、財政的には概ね健全であると考えられる。

- 海外会員の会費納入率が良くないが、連絡体制を改善することにより、納入率を上げる努力を行う。MMB システム英語版の運用が開始されたこと、今後、海外会員にも督促を行うことにより、可能であると考えられる。

- 監査の関係により、出版助成金を特別会計扱いとした。

- 業務委託量が 30 万円ほど予算を超えたことに関して、調査中。

- 会報発送費が予算を大きく上回った。

- 全体としては、176,967 円繰越金を取り崩したが、予算で想定した取り崩し額 919,925 円と比較すると小さい。取り崩しは、秋学会投稿システム・会費納入システムなど新規事業立ち上げによるもの。

・単年度納入率を上げる必要があるという意見が出された(以前は96%程度)。具体的な方法については、今後議論する。

6. 国際交流事業応募書類審査(石井)

5件の応募があり、議論の結果、尾花由紀会員、坂野井和代会員、長谷英彰会員の申請を採択した。

7. 秋学会(第122回講演会)準備状況について(野澤)

・9月28日～10月1日に名古屋で行われる予定の秋学会までの準備日程と、使用予定の会場についての報告がされた。今後の予定は、6月15日 予稿受付開始、7月13日 予稿受付終了、8月17日 プログラム決定、9月初旬 冊子体プログラム発送、9月7日 プログラム、予稿集の Web 閲覧開始、9月28日～10月1日 秋学会。会場は、名古屋大学野依記念学術交流館他。

・2件の特別セッションが提案され、開催について両者共に承認された。

(1) 「STE 研究における地上ネットワーク観測の現状と将来展望」(提案者:藤井良一(名古屋大学太陽地球環境研究所),佐藤夏雄(国立極地研究所),津田敏隆(京都大学生存圏研究所),湯元清文(九州大学宙空環境研究センター),小野高幸(東北大学大学院理学研究科))

(2) SGEPS 創立 60 周年記念特別セッション:地球電磁気学の歩み(運営委員会)

8. 学会連合について(高橋)

- ・運営会議が5月19日に開かれた。これまでは2年毎に委員長が退任し、副委員長が委員長と交代することになっていたが、「留任をさまたげない」ことになった。
- ・複数のSGEPSS会員が委員・委員長・副委員長に、新任・再任となった。
- ・連合のアウトリーチ活動に関して、広報・活動案はあるものの、人手が足りない状況であることが報告された。講師の派遣等、SGEPSSの連合アウトリーチへの協力が呼びかけられた。

9. アウトリーチ活動について(長妻・北)

- ・秋学会のアウトリーチ活動費について科研費を申請していたが、不採択であった。
- ・秋学会のアウトリーチ活動は、学会2日目(9月29日 土曜日)午後に、名古屋市科学館において行う。講演者・展示物の内容等の詳細については、アウトリーチ部会にて今後調整を行う。
- ・アウトリーチHPの改善を行う予定。

10. EPS 関係(齊藤)

- ・山崎委員長の退任により、次期運営委員長に齊藤委員が就任することが報告された。
- ・EPS誌運営委員会・テラパブ間、および、学会間覚書の案が提示された。連合大会期間中(5月22日)にEPS運営委員会を行い、協議する予定であることが報告された。
- ・JGGの電子化は現在も継続中。公開は電子化が全て完了してから行う予定。

11. 男女共同参画関係について(木戸・長妻)

- ・4月の連絡会の内容について報告された。この中で、関西で行われた春の科学塾について紹介され、今後地方への展開を期待していることが報告された。
- ・秋学会での託児所(保育室)について、平日は名古屋大学内の保育園の利用ができるが、日曜日については別途調達する必要があることが報告された。
- ・5月19日に男女共同参画セッションが開催された。
- ・ポスドク調査については、秋までに報告書を作成する。

12. 学校教育WG 報告(北)

- ・3月10日、5月19、20日にWGが開催された。冊子編集作業は現在継続中。冊子の内容については、運営委員会の承認をとる予定。次期WGで内容を提示し、秋学会にて開催されるWGにおいて内容を決定する。

・学校教育 WG も含め、アウトリーチ活動に対する財源の確保について議論された。

13. 会報発行予定(北)

次回:秋学会予稿投稿呼びかけ

原稿は 6 月 4 日 締切、6 月 25 日 発行予定。

14. 学会創立 60 周年記念事業(石井)

学会創立 60 周年記念事業として、学会史をまとめ、公開することが京都大学名誉教授荒木徹会員により提案され、この件について検討を行ったことが報告された。また、本事業を行うことが承認された。今後は、60 周年記念事業時限部会を立ち上げ、トピックのピックアップと原稿依頼・募集作業を進め、今期中にまとめる。公開は学会ホームページにて行う予定。